

みなさん、こんにちは。

最近、お昼は汗ばむくらいに暖くなりましたね。

さて、4月からすずクリに3人の新メンバーが加わりました。(紹介は裏面に掲載しています)

この5月11日で当院も開院6周年を迎えました。

6年も経つと当然メンバーの入れ替わりはあります。ただ、メンバーが変われども変わらないことがあります。それはスタッフの仕事に対する前向きな姿勢・素直さです。

みんなこの仕事が好きなんです。

すずクリに新たな旋風が吹き荒れること間違いなし！これからもよろしくお願ひいたします。

## 救命講習 受講しました

5月18日当院に東消防署から、消防士・救命士を講師としてお招きし、心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使用方法について、スタッフ全員で受講しました。

歯科は命と直接関わりがないといわれていますが、麻酔などの薬剤を扱う医療機関。

もちろん、実際にAEDや心臓マッサージを使わなくてはならない状況に陥らないために、しっかりとした問診や細かく患者様の体調を読み取ることを大切にしています。

しかしいつ何時、事故や災害が起きるかわかりません。医療人として、最低限の知識はあっても実際に緊急時に対応できなければ意味がありません。

講義を受け、実演を見せていただいた後で、人形を使って1人ひとりが実習を行い、救命措置を体験しました。

119コールがあつて、救急車両が現場に到着するまで約6分弱。その6分の中で適切な措置をとれば、命の助かる確率がぐっと変わるそうです。

まずは心肺蘇生法。

強く、速く、絶え間なく…1分間に100回のテンポで30回、5センチ位沈むまで強く圧迫。

この胸骨圧迫を30回、そして人工呼吸を2回。

救急車両が到着するまで、ひたすら繰り返します。

そしてAED。

電源が入るとすべて、このAEDが音声で指示を出してくれます。心電図の解析をし、心肺停止状態であれば電気ショック(除細動)が必要との指示。

文章にしてみればなんてことありません。

しかし、実際やってみると力はもちろんのこと、コツがあり、かなり難しい!

たった五センチ圧迫することもままならない。人工呼吸も空気が漏れてしまう……

『命』を守るってなんて難しいんでしょう…

この講義を終え、改めて命の大切さを感じました。

そしてその命を守る救急隊のみなさんに感謝です。

私たちが医療人として、今回身に付けた知識と感覚を忘れないようにし、緊急時には対応できるようにしておきたいと思います。(衛生士 小畑)



## すずクリは6歳になりました

5月11日ですずクリは開院6周年を迎えました。毎年欠かさずスタッフたちがお祝いしてくれるのに、今年は「おめでとう」の一言もありません。『6年も経てばこんなもんか…』と思っていたら…翌日12日の診療後、サプライズパーティーが用意されていました!!!



みんなからのメッセージ入りTシャツ & 特大パースケーキ(なんと25人前!!)